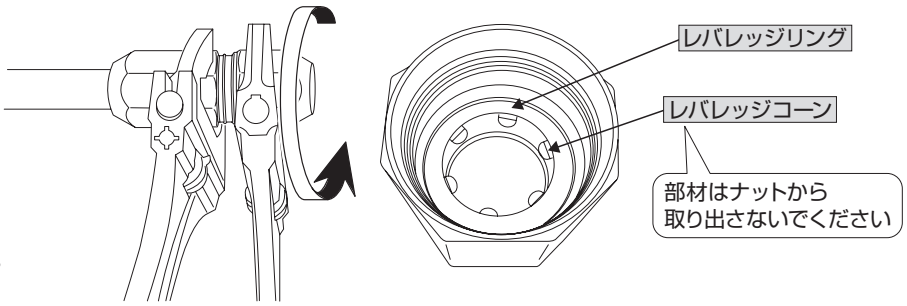
φ31.75～φ38.1用 気密テストプラグ 施工要領書

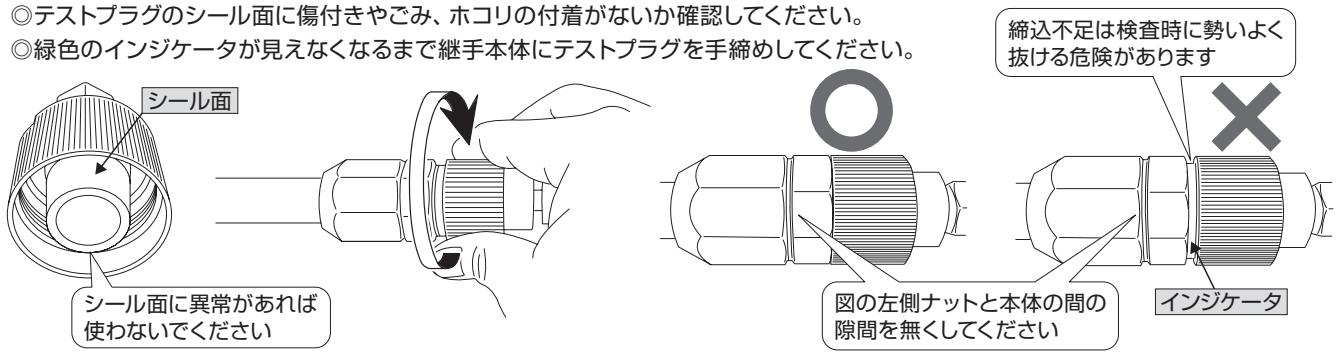
① ナットの取外し

◎モンキーレンチを用いて継手本体からナットを緩めて取り外してください。
注）継手本体及びナットにごみ、ホコリ、糸くず状の金属片の付着がないように注意してください。
◎取り外したナットはごみやホコリが付着しない環境下で大切に保管してください。



② テストプラグの確認、取付け

◎テストプラグのシール面に傷付きやごみ、ホコリの付着がないか確認してください。
◎緑色のインジケータが見えなくなるまで継手本体にテストプラグを手締めしてください。



③ 気密試験

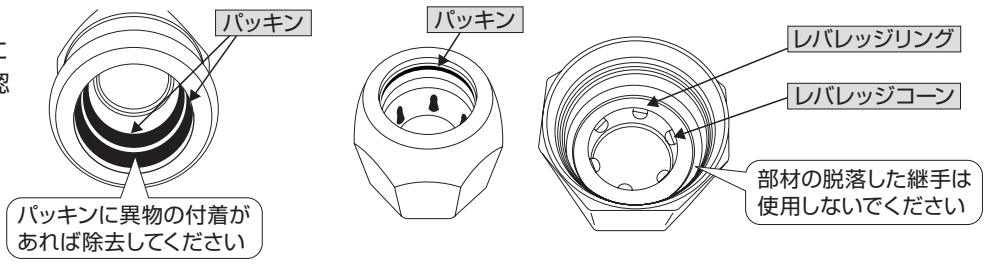
◎使用される機器メーカーの施工・管理マニュアルに基づき実施してください。
注）フレア口のサイズは2分（φ6.35mm）です。
注）テストプラグは気密試験専用品です。恒久的な使用はできません。（使用回数3年を目安に交換してください）

④ テストプラグの取外し

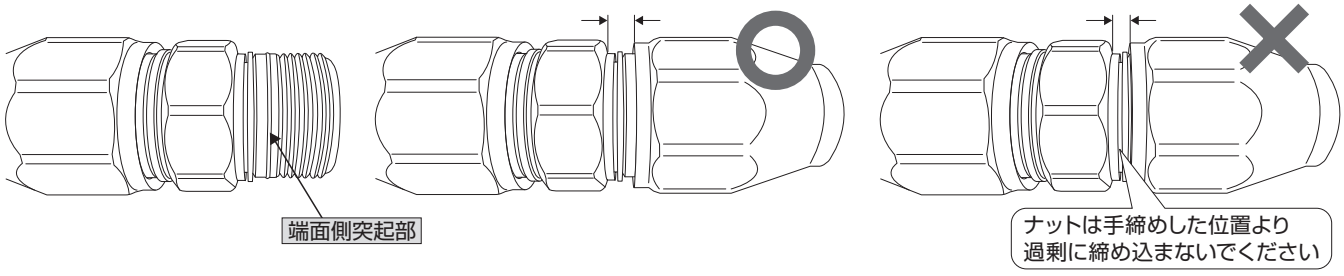
◎配管内の圧力を抜いた後、継手本体からテストプラグを取り外してください。

⑤ ナットの取付け

◎継手や外したナットのパッキンにごみ、ホコリの付着がないか確認してください。
◎ナットから部材の脱落が無いか確認してください。



◎外したナットの端面が、継手の端面側突起部に届くまでナットを手締めしてください。
◎ナットの締め過ぎは銅管の挿入が困難になったり、無理に挿入した場合は銅管に傷が付き、冷媒漏れに繋がります。



⑥ 標準施工

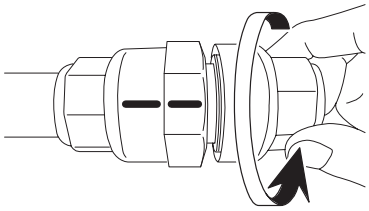
◎φ31φ38施工要領書に従い、①保温材切除から実施ください。

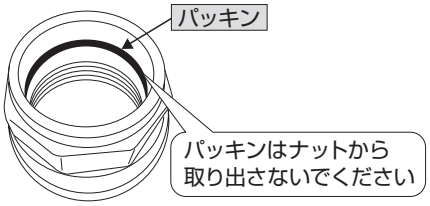
φ6.35～φ28.58用 気密テストプラグ 施工要領書

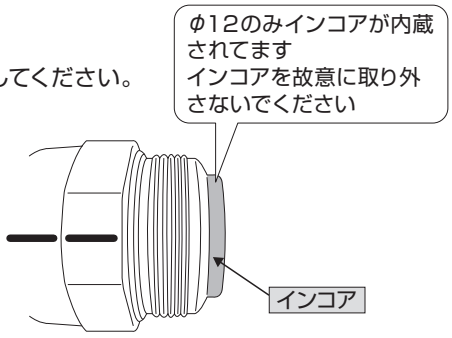
注意 ・気密治具取付時は、必ず手締めしてください。(工具で締付不可)
・気密治具の保管時は、気密治具内部にホコリ、ごみが付着しないよう袋に入れて保管してください。
・気密治具は、恒久的な使用はできません。使用年数3年を目安に交換してください。

① ナットの取外し

◎継手本体からナットを手で緩めて取り外してください。
◎取り外したナットはごみやホコリが付着しない環境下で大切に保管してください。
注) 継手本体及びナットにごみ、ホコリ、糸くず状の金属片の付着がないように注意してください。
注) 継手本体とナットの組み合わせは、替えないでください。

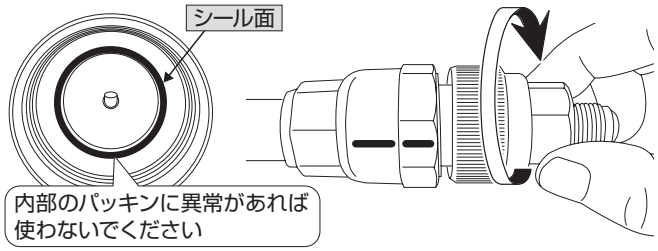


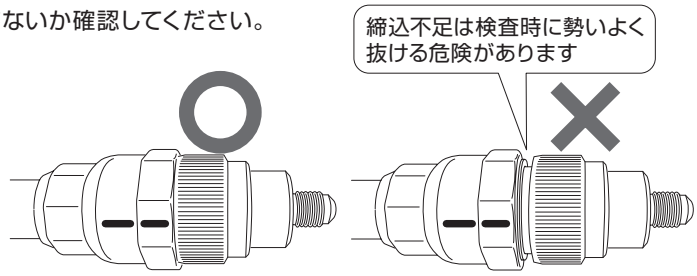




② テストプラグの確認、取付け

◎テストプラグ内部のパッキンに傷付きやごみ、ホコリの付着がないか確認してください。
◎継手本体に気密治具が突き当たるまで手締めしてください。





③ 気密試験

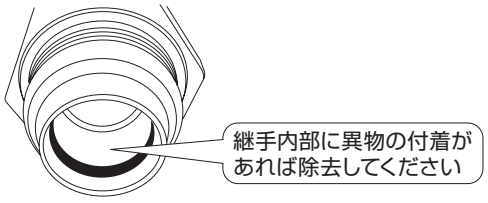
◎使用される機器メーカーの施工・管理マニュアルに基づき実施してください。
注) フレア口のサイズは2分(φ6.35mm)です。
注) テストプラグは気密試験専用品です。恒久的な使用はできません。(使用回数3年を目安に交換してください)

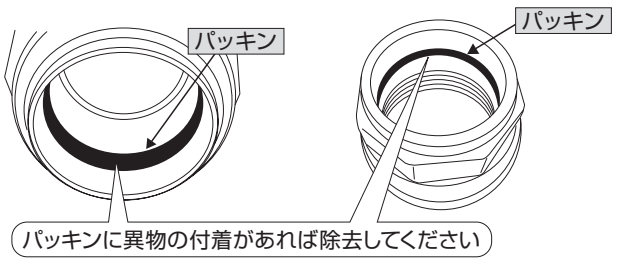
④ テストプラグの取外し

◎配管内の圧力を抜いた後、継手本体からテストプラグを取り外してください。

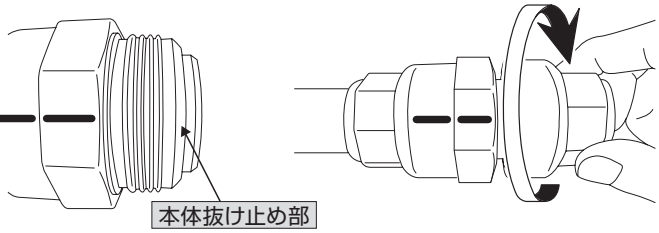
⑤ ナットの取付け

◎継手内部また、継手や外したナットのパッキンにごみ、ホコリの付着がないか確認してください。





◎外したナットを継手本体に、手で締まるところまで取り付けてください。
注) ナットの取付けには工具は使用しないでください。
本体抜け止めが変形するおそれがあり、抜け止めが変形した状態だと銅管の挿入が困難になったり、無理に挿入した場合は銅管に傷が付き、冷媒漏れに繋がります。



⑥ 標準施工

◎φ6～φ28施工要領書に従い、①保温材切除から実施ください。